



お知らせコーナー -Information & Event Schedule-



北 なごみん ☎ TEL 0564-66-8251
☎ FAX 0564-45-1521

地域協働交流会

『まちの魅力再発見!ワークショップ』を開催します!

市民活動団体を中心に、北部地域の魅力や課題をみんなで共有しながら未来のまちづくりを考えるイベントを開催します。世代や立場をこえて語り合い、地域のつながりを深めませんか。ぜひご参加ください。

日 時 | 2026年2月14日(土)10:00~12:00
会 場 | 北部地域交流センター・なごみん
参加費 | 無料
申込み | 窓口またはお電話にて

西 やはぎかん ☎ TEL 0564-33-3665
☎ FAX 0564-32-7771

エントランスギャラリーの利用者募集!

エントランスギャラリーは、活動PRや作品展示などができるスペースです。利用期間は原則1週間。

どなたでも利用でき、支所に用事のある方にも見ていただけます。予約は1年先の月末日まで可能で、利用料は無料です。詳細は窓口スタッフにお尋ねください。

多くの方の目に触れられる場所として気軽にご利用ください。



六ツ美 悠紀の里 ☎ TEL 0564-57-5050
☎ FAX 0564-43-3350

「ゆきサロン」出演団体募集!

読み聞かせや、ミニコンサートなどボランティアで行っていただく方を募集しています。

悠紀の里で憩いのひと時を演出してみませんか♡。

団体の発表の場としてもご活用ください。



日 時 | 開館日の10:00~15:00の間で30分程度
会 場 | 地域交流センター悠紀の里ふれあいホール
申込み | 窓口もしくはお電話にて

開館時間 | 9:00-21:00 **休館日** | 地域交流センター: 月曜日(祝日の場合は翌日休館)、12/29-1/3
市民活動センター: 水曜日(祝日の場合は営業)、12/29-1/3

発 行 | 地域交流センター指定管理者/市民活動センター受託者 岡崎まち育てセンター・LITA
〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町字3丁目6-6 TEL 0564-23-2888 / FAX 0564-23-2898 / E-mail info@okazaki-lita.com

南 よりなん ☎ TEL 0564-59-3600
☎ FAX 0564-54-3700

「よりなんサロン」出演団体募集!

市民活動団体等に発表の場を提供し、来館者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただくことを目的に「よりなんサロン」を開催しています。発表の場や活動のPRの場として出演していただける団体を募集しています。

詳細は、よりなんまでお問い合わせください。

時 間 | 11:00~11:30
申込み | よりなん窓口へ(事前登録、要予約)
⑨音の出る活動は制限がありますので
ご相談ください。

東 むらさきかん ☎ TEL 0564-66-3066
☎ FAX 0564-48-1680

市民活動団体等の交流事業

『防災フェーズフリーってナニ?』参加者募集中!!

普段の生活の延長で防災対策ができるよう、日常で使っている物やサービスを非常時にも役立てる新しい考え方「防災フェーズフリー(備えない防災)」を理解し、情報交換をする交流会です。団体同士の活動を知る機会にもなります。

ぜひご参加ください。



参加申込フォーム

日 時 | 2026年1月24日(土)13:30~15:30
会 場 | 東部地域交流センター・むらさきかん
申込み | WEBフォームもしくは窓口・お電話にて

りぶら 市民活動センター ☎ TEL 0564-23-3114
☎ FAX 0564-23-3142

ボランティアをしてみませんか!／

●まちびとバンク

ボランティアをしたい人と、ボランティアを募りたい団体をマッチングするシステムの名称です。

●まちびとステージ

「特技やスキルを発揮してサービスを提供できる人」と「サービスを必要としている団体」をマッチングするシステムの名称です。

『まちびと』の名前には、ボランティアを通し、岡崎がよりよいまちになっていくお手伝いをする「まちの人材」と、「活躍する機会を待つ人」「活躍してくれる人を待つ人」の意味が込められています。



ボランティア
募集情報

岡崎市

地域交流センター

市民活動センター

情報誌

まちのワ!

No. 23
2026.01



絵本講座の様子

絵本と子育てを楽しむ広場



どんぐりのうち

[代表者] 山本 麻衣子さん
[連絡先] dongurinoouchi.ehon@gmail.com
[活動概要] 絵本講座
[活動場所] なごみん・りぶら
[活動日] 月に1回(午前)
[SNS]



@DONGURINOOUCHI_EHON



活動のポイント

- ・参加者募集はSNS(Instagram)となごみに活動チラシを配架
- ・参加者の利便性を考慮してなごみん、りぶらの2か所で活動
- ・活動の様子はSNS(Instagram)で発信
- ・地域交流センターでのイベントに参加他の活動団体との交流・知見をふやす
- ・地域外からの参加も歓迎

皆さんは『マタニティ読みきかせアドバイザー』をご存じですか?これは、妊婦やその家族に対して家庭で絵本の読みきかせをすることの重要性を伝える専門家です。

今回はこのアドバイザーとして活動している山本さんにお話をうかがいました。山本さんが活動に関心を持ったのは、ご自身のお子さんが思春期を迎え、子育ての壁にぶつかった時に読んだ『まちよみ またよみ』(内田早苗・著)という本がきっかけだったそうです。この本から、「子育てでは自分の感情を優先するのではなく、子どもをよく見て、その望みに寄り添うことの大切さ」に気づき、子育ての原点に戻り「子どもの力を信じて待つ『待ちよみ』の子育てをしよう」と決意したとのこと。その経験からもっと早い段階でこの考え方に会えていたら心が救われていたかもしれないと感じ、マタニティ期から絵本の読みきかせを勧めることに力を入れて活動を始めました。

現在は季節に合わせて『雨』や『どんぐり』などをテーマにした絵本を選び、絵本講座を開催しています。先日、妊娠中から参加されていた方が出産し、生後2ヶ月のお子さんと一緒に参加された際に「赤ちゃんと一緒に絵本の世界に触れられる時間がとても心地よく、育児の合間の癒しになっています」と話されており、絵本の読みきかせが親子の大切なひとときになっていると感じました。

「子育てに悩んでいる方が、絵本を通してこれなら私もできる!と思えることを増やし、楽しく子育てができるように、より多くの方に活動を知ってもらえるように頑張ります」と今後の抱負も話してくれました。

子育てを楽しむヒントを見つけたい方は、ぜひお越しください。

絵本を通して
信じて待つ子育て

市民活動団体 ピックアップ情報

市内で頑張る市民活動
団体を紹介します。

① 戦争の語り部「岡崎空襲を記録する会」

団体概要

[代表者] 杉田 隆志さん
[連絡先] 090-7691-7530
[活動日]
第4木曜日 事務局会議
第3土曜日 慰霊碑の掃除
※その他のスケジュール
7月 市民慰霊祭
7～8月 岡崎空襲と戦争 りぶら展
8月 戦争体験を語る・語り継ぐ会

[活動場所] 主にりぶら



▲やはぎかん事業「夏休み宿題ヒントフェス」で真剣にメモを取る子どもたち

こんな公益活動をしています

1945年7月20日未明の岡崎大空襲を中心に、空襲や戦災、戦争についての体験や事実を記録し、伝えることによって平和を守っていくことを目的としています。団体結成以来続いている「市民慰霊祭」では、空襲体験の語りなどを実施しています。

昨年は、第16回を迎えた「岡崎空襲と戦争 りぶら展」で紙芝居や会の保有する資料などの展示をしました。



▲戦争体験を語る・語り継ぐ会

団体からのメッセージ

「岡崎空襲」は、一つの記録では捉えきれません。私たちは、体験者の小さな声や貴重な資料を丹念に集め、その全体像を解明し、記録を続けてきました。この記録を、戦争の記憶を次世代へつなぐ大切な財産にするため、ぜひ私たちと一緒に活動しませんか。

② あそびにきてね！！「手話サークルかやくごはん」

団体概要

[代表者] 坂本 国土さん
[連絡先]
0564-45-7807(FAX)
kayakugohan1982@yahoo.co.jp
[活動日]
第1～4 土曜日
19時～21時まで
[活動場所]
①連尺学区市民ホーム
②図書館交流プラザりぶら



▲参加者が輪になり手話技術を習得中

こんな公益活動をしています

手話技術の取得向上に励み、誰もが楽しく参加できる中で、聴覚障がい者と健聴者のより活発な交流を図ることを活動の目的としています。福祉実践教室や福祉まつりなどの機会を最大限に活かし、聴覚障がい者が日々の生活で不便に感じている事柄を多くの方に理解してもらえるよう、積極的に啓発活動を行っています。



▲イベントで活動をPR

団体からのメッセージ

老若男女、ゲームを交え手話の成り立ちや意味を楽しく学んでいます。初心者から経験者まで、各自の課題に励み技術習得中。食事会や行事で交流を深めたり、イベントへ参加し、聴覚障がい者の理解促進に努めています。初心者も大歓迎！ぜひ一度お越しください！

地域交流センター ピックアップ情報

各地域交流センターの
お知らせや地域情報
をご紹介します。

六ツ美 悠紀の里

館内装飾は「福祉のサロン」にまかせて!!

悠紀の里では、折り紙で一つひとつ丹念に折られた花々など、季節感あふれる美しい色彩の装飾が、市民活動ステーション受付の上から来館者を出迎えてくれます。

この飾り付けを担っているのが、六ツ美南部学区福祉委員会「福祉のサロン」の皆さんです。メンバーは60代から90代までの15人ほど。毎週月曜日に南部学区市民ホームで活動しています。館内装飾だけでなく、「ゆきファミリーパーク」や「みんなのむつみ展」など悠紀の里のイベントでも、ボランティアや作品展示で大活躍。

「みんなに見てもらえるからうれしい。やりがいがある」と、皆さん楽しく活動しています。次はどんな趣向を凝らした作品が登場するか楽しみです。悠紀の里にお越しの際は、ぜひご覧ください。



▲(上)折り紙の館内装飾(下)福祉のサロンでの活動

東 むらさきかん

受援力をミカタに!市民活動サポート研修を開催

受援力を高めて団体の活動を活性化してもらおうと、昨年の8月23日に市民活動サポート研修「受援力のススメ」を開催しました。受援力とは、困っているときに周りに助けを求め、外からの支援やボランティアを受け入れる力のことを言います。ボランティアを受け入れることで活動の幅が広がり、新しい考え方や人とのつながりが生まれます。

事例紹介をしてくれた3団体『長瀬八幡宮見守る会』『NPO法人こえもじ』『ONE RIVER』からは、ボランティアしてくれる方に対して「目的を明確に伝える」「気楽に参加できるようにSNSで雰囲気を発信する」「相手の個性やペースを大切にすること」など工夫していることを発表していただきました。こうした取り組みが、ボランティアの継続や信頼関係の構築につながり、団体の活動の幅を広げることが学びました。



▲3団体から事例紹介をしていただきました。その他にも、市民活動に役立つボランティア情報の紹介やプロボノの紹介をしました。

西 やはぎかん

地域の防災訓練をテーマに、「防災交流会」開催

11月23日、「やはぎかん防災交流会」を開催しました。テーマは防災訓練。今年、矢作の各学区で行われた防災訓練の内容をそれぞれ発表していただきました。さらに、市民活動団体『こども☆横丁プロジェクト』による岩津北公園での防災キャンプの取組や、やはぎかんが調べた他自治体での防災活動の事例を紹介しました。

後半は、前半で紹介された様々な事例を参考に、「自地域の訓練に活かすには?」というお題で意見交換を実施。「マンネリ化している訓練を見直すきっかけになった」「事例紹介の中に、リアルな問題と工夫が入っており大変参考になった」と、様々な感想をいただきました。防災交流会で得られた知見をぜひ地域で活かしてほしいと思います。ご参加・ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



▲防災訓練に関する様々な事例を聞いて、自地域にどう活かすことができるか、意見交換しました